

# 特集

## 異文化に触れ、未来を描く オーストラリア ケアンズ訪問

### 第15回 中学生海外派遣

町では町内中学校の2年生を対象に、現地の生徒や家族との交流を通じて生活や文化に触れるとともに、外国語による表現と理解を高め、国際感覚豊かな青少年の育成と国際交流の推進を図ることを目的として、中学生を海外に派遣しています。

今年は、8月1日から8日までの8日間、生徒22名がオーストラリアのケアンズに派遣されました。

現地で生徒たちは、学校訪問による授業参加や、ホームステイを体験しました。日本とは違う言語や生活習慣、文化に触れ、ホストファミリーや現地の中学生との交流を通して、「コミュニケーションの大切さを肌で実感し、様々な人たちの温かな支えによって、多くのことを学んで帰国しました。

参加した生徒の皆さんに、アンケートをとりましたので、ここに紹介します。



訪問校 ケアンズステートハイスクールの正門にてバディとともに集合写真

### 全日程表

月日	地名	スケジュール
8/1 (金)	上三川町 成田空港 (機内泊)	出発式後、バスで成田空港へ空路、オーストラリア・ケアンズへ
8/2 (土)	ケアンズ着 (ホームステイ)	ホストファミリーと対面式 ホストファミリーディ
8/3 (日)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	ホストファミリーディ
8/4 (月)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	学校訪問・体験授業
8/5 (火)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	学校訪問・体験授業
8/6 (水)	ケアンズ (ホームステイ)	グリーン島研修 (世界遺産グレートバリアリーフ) ホストファミリーとのFarewell Party
8/7 (木)	ケアンズ	キュランダ村研修 (世界遺産ディンツリーフォレスト 及びアボリジニ文化)
8/8 (金)	ケアンズ 成田空港 上三川町	空路、ケアンズから成田空港へ バスで上三川町へ

### 参加生徒

所属名	氏名
本郷中学校	高橋 和峻 (たかはし かずたか)
	松本 悠希 (まつもと ゆうき)
	坂本 芽来 (さかもと める)
	岸本 和奏 (きしもと わかな)
	遠藤 瑠七 (えんどう るな)
上三川中学校	関 ゆうむ (せき ゆうむ)
	吉田 崇晴 (よしだ たかはる)
	小野寺 智裕 (おのの ともひろ)
	青木 達也 (あおき たつや)
	伊藤 翼 (いとう つばさ)
	伊藤 怜美 (いとう さとみ)
	大塚 真悠莉 (おおつか まゆり)
明治中学校	高橋 夢果 (たかはし ゆめか)
	上野 梨恵瑠 (うえの りえる)
	中田 隼輔 (なかた しゅんすけ)
	久井 和基 (ひさい かずき)
	渡邊 瑠夏 (わたなべ るか)
	小池 菜々子 (こいけ ななこ)
	中沢 花連 (なかざわ かねん)
	高島 花梨 (たかしま かりん)
市川 さくら (いちかわ さくら)	
隅内 奏絵 (すみうち かなえ)	

今回の海外派遣にあたって…  
参加生徒に次の3つの質問をし、回答をいただきました。

- ①この海外派遣で得たものは何ですか？
- ②この海外派遣を自分の将来に、どのように役立てていきますか？
- ③今回の海外派遣で一番印象に残っていることを、短歌で表現してください。

高橋 和峻

- ①私は事前研修からいろいろな方々と関わり、コミュニケーションを積極的にとることの重要さを実感しました。
- ②どのような状況にあっても積極的に物事に当たり、コミュニケーションを上手く図り、社会に役立てていきたい。
- ③ひとりでは、何もできないことに気付かされた。人々に感謝しながら生きる大切さ

松本 悠希

- ①日本とは異なる気候や生活習慣、交通事情を実際に目で見て、身近に感じるというよい経験。
- ②外国の人に、日本のすばらしいところを英語でたくさん紹介できるように、今回体験したことを役立てたい。
- ③日本とは、異なる習慣、持つ学校個性の光る、自由な校風

坂本 芽来

- ①1日目の学校訪問で生徒たちの行動力に驚き、2日目にそれを意識し積極的に行動してコミュニケーションがとれた。
- ②ケアンズの人達の大きさで気さくな感じにとても好感を持ったので、今後、人と接する時に役立てたい。
- ③広大な 自然と海に 囲まれて 過ごす日々こそ 大きな宝

岸本 和奏

- ①私は、オーストラリアの文化に触れ、現地の人がそれを大切に守っていることを知りました。
- ②私は、異文化を尊重し、また外国語をたくさん勉強し、様々な国の人と、コミュニケーションをとりたいです。
- ③日本出て 出迎えてくれた 人々は ふるさとと同じ 温かい心



ホストファミリーとの出会い



学校訪問、ウェルカムスピーチ

遠藤 瑠七

- ①外国人とのコミュニケーション能力です。日本では外国人と話す機会があまり無いので、良い経験になりました。
- ②今まで以上にたくさん英語を勉強し、将来スラスラと英語が話せるようにしたいです。
- ③初めての 英語生活 やや不安 身ぶり手ぶりで 実力発揮

関 ゆうむ

- ①言葉や文化が違ってても、笑顔で積極的にコミュニケーションをとれば、相手とつながることができるということ。
- ②この経験を生かし英語を使っていろいろな国の人と交流を深めていき、社会に貢献していきたいです。
- ③行ってみて 初めて分かる 英語力もつ一度行って リベンジしたい

吉田 崇晴

- ①この海外派遣で、オーストラリアの方との交流をすることができ、また、少しの英会話力を得られました。
- ②この海外派遣での体験を元に、もっと広い考え方をするようにしていきたいと思えます。
- ③知らぬ町、そこで出会った人々といつか再び、会えると願って

小野寺 智裕

- ①貴重な経験をしたあとの達成感と、友達がいることのありがたさなどの、感謝の気持ちです。
- ②将来、外国の方と話をするときに、今「回学んだ」あきらめず最後まで相手に伝える」ということをやっていく。
- ③あきらめず 一生懸命 英会話 伝わったときの うれしい気持ち

青木 達也

- ①もっと勉強をしなくてはいけないというところ、外国人との話し方。
- ②まず、外国へ行ったときの接し方。国際的な仕事についたときに役立てたい。
- ③外国の 文化と言語 異なるが工夫しだけで 伝わっていく

伊藤 翼

- ①日本とは異なる暮らしや自然、人々の心に触れ、自分にとって新しい価値観や考え方を得ることができました。
- ②常に複数の視点を持つて物事を見つめ、様々な考え方ができる人になるために、役立てていきます。
- ③アポリジー 良き伝統を 守り抜く 自然と共に 生きゆく暮らし

伊藤 怜美

- ①日本と言語も文化も違うけど、相手と交流することでコミュニケーションの大切さを学びました。
- ②この経験を生かし、将来人と関わる仕事の時に、コミュニケーション能力を生かしたいと思います。
- ③たくさんの 思い出が今 よみがえる 遠く離れた 美しい島に

大塚 真悠莉

- ①英語の知識です。英語に耳も慣れ、返事もスムーズにできるようになりました。また、積極的に行動できました。
- ②積極的に行動できるようになったので、学校でも大人になっても、積極的な行動、発言をしていきたいです。
- ③自分に 自信がついた 一週間 思い出すべて 自分の力に



学校訪問・体験授業

高橋 夢果

- ①「コミュニケーション能力、英語の会話力、オーストラリアの文化などを得ました。
- ②将来の夢の進路のため、そして今後の英語の学力向上に役立てていきたいと思えます。
- ③ケアンズの とても素敵な 人たちの 優しく明るい 良い人柄

上野 梨恵瑠

- ①英語の会話力、コミュニケーション能力、積極性、オーストラリアの文化などを得ました。
- ②英語の先生になりたいので、高校での勉強に役立てたり、もし先生になったら、今回の経験を生徒に伝えたい。
- ③うれしいな 伝えられたよ しっかりと 達成感と 自信がついた

中田 隼輔

- ①積極性です。派遣先の活動は自分から話しかけたり動いたりすることを意識しました。積極性の大切さを実感しました。
- ②僕の夢は外交官になることです。そのために必要な臨機応変さと積極性を学んだので生かしていきたいです。
- ③自分から 話しかけなきゃ はじまらない スタイ先での コミュニケーション

久井 和基

- ①外国の人との接し方や、困難や問題を乗り切るにあたっての対応の仕方
- ②外国の人たちと接する時に、今回の海外派遣で学んだ事をふまえた対応ができるようにする。
- ③海外の 異文化に触れた 八日間 貴重な体験 忘れ難し

渡邊 瑠夏

- ①広い視野を学んだ。異国の文化や考えにふれて日本の文化、日本人自身の素晴らしさに改めて気付いた。
- ②多くの事を学んだので視野をもっと広げ、将来は世界に貢献できる人間になりたいです。グローバルな人になる。
- ③未知の国 自分の足で ふみしめて 夢が広がる ホームステイ

小池 菜々子

- ①「伝えたい」という思いの大切さです。「伝わるかな」でなく「伝えたい」と思う事が大切だと感じました。
- ②今回得たコミュニケーション力や積極性など将来役立つ力を、社会に出たとき、十分に発揮したいと思います。
- ③たくさんの方の 数え切れない 初体験 ドキドキ半分 わくわく半分

中澤 花連

- ①すべてがよい経験になった。特に、学校訪問で見た積極的な姿勢や英語でコミュニケーションがとれた時の喜び。
- ②感謝する気持ちとチャレンジし続ける気持ちを忘れずに、何事も積極的そして前向きに取り組んでいきたい。
- ③不安でも 気持ちで伝えた 英会話 驚き感動 楽しさを知る



ホストファミリーとFarewell Party

# 特集

高島 花梨

①自分から積極的に英語で伝えようとする  
ことで、本当の気持ちを表せたり積  
極的になれました。

②将来、英語関係の仕事につきたいと思っ  
ているので、英語の知識や外国の人と  
の交流をたくさんしたいです。

③緊張感 自ら話す 積極性 笑顔と  
共に 話が進む

市川 さくら

①私が出たものは、言葉が違っていて  
も、積極的にコミュニケーションを取  
ることで心が通じ合えることです。

②この貴重な体験を生かして、もっと  
勉強をし、将来英語を使う職業につ  
き、役立てたいです。

③グリーン島 きれいな海と 魚たち  
一生心に 残る思い出

隅内 奏絵

①どんな人ともはずかしがらずにコ  
ミュニケーションをとることの大切  
さを改めて学ぶことができました。

②留学をして英語が話せるように勉強  
をし、英語力が役に立つボランティア  
をしてみたいと思います。

③キュランダの スカイレールで 空  
の旅 森のくまさん 大合唱

## 派遣団長報告

団長 仁平 和希(上三川中学校教頭)

8月2日早朝4時にケアンズ到着。マーケットの見学もそこそこに、生徒たちは、ホストファミリーに迎えられていきます。その表情には緊張と不安がありありと浮かんでいました。無理もありません。まだ英語の学習を始めて一年半足らず。日常会話もおぼつかないのに、異国の他人の家でこれからの五日間を過ごすのです。けれども、2日後の朝に再会してみると、生徒たちは早くもそれぞれの家庭に適応している様子でした。そして最終日、ホストファミリーと別れの言葉を交わす様子からは心からの感謝の気持ちが感じられました。

今回の研修を振り返って一番に感じるのは、中学生という多感な時期に海外を体験することの意義深さです。英語を学ぶ意欲の向上にとどまらず、自分自身の生活や家族の一員としてのありがた、さらに将来の進路を考える手がかりにもなったはず。また、自国の文化を客観的に見るきっかけにもなったでしょう。生徒にとって、これからの人生の中で忘れ得ぬ体験となったことと思います。



キュランダ村にて記念植樹

## 帰国報告会

8月18日(月)に、上三川町役場大会議室において帰国報告会を開催しました。

報告会では、町及び議会関係者を前に、同行した先生方や生徒たちから感想が発表されました。

生徒たちからは、「伝えようとする努力や理解しようとする努力の大切さを知ることができた」「自分の話したことが相手に伝わったときの喜びを感じる事ができた」と英語でのコミュニケーションを通じての感想や「異文化の大切さを感じた。日本の文化のすばらしさを再認識した」など、見学や交流を通じた感想が発表されました。



「出発式の時に成長して帰ってくる約束して出発しました。少しは成長できたかなと感じた」「自分の視野を広げることができた。自分の物事に対する視点を増やすことができた」など、自身の成長について感じたことを報告した生徒もいました。

先生方からは「日を追うごとに積極的になっていく生徒の姿を見て、順応の早さに驚いた」「町の代表として、研修であるという高い意識の中で過ごしていた」と、生徒の姿を大いに評価していました。

報告される言葉の一つ一つや生徒たちの表情から、多くの貴重な体験を積んできたことが伝わってきた報告会でした。

▶ 問い合わせ先 = 教育総務課 学校教育係 ☎ 56-9156